

センターからのお知らせ

◆Act Against AIDS の 2015 年エイズ知識啓発ポスターパネル 貸出開始



No1. 1日約4人-昨年1年間、日本で感染がわかった人の数-



No2. 若者の感染が多い!?



No3. HIV 感染のほとんどが性的接触



No4. 日常生活では感染しない!



No5. HIV 検査は保健所なら匿名・無料



No6. 世界の HIV 感染者は 3,500 万人

音楽業界を中心にエイズ啓発活動を行っている Act Against AIDS が制作した最新ポスターのパネル (B2 版・6 枚セット) を貸し出しています。文化祭やイベントなどでの展示に便利です。

貸出方法詳細は、横浜 AIDS 市民活動センターの HP でご確認ください。

→ URL : <http://www.yaic.gr.jp/>

◆平成 24 年 (2014 年) エイズ発生動向 (確定値)

厚生労働省エイズ動向委員会が 2015 年 5 月 27 日に発表した報告によると、2014 年の日本国内新規 HIV 感染者報告数は 1,091 件、新規エイズ患者数は 455 件、合計 1,546 件 (過去 3 番目に多い) でした。

感染経路別や年代別などの詳細は、エイズ予防情報ネットへ GO!

→ URL : <http://api-net.jfap.or.jp/>

◆休館のお知らせ

臨時休館 : 2015 年 8 月 8 日 (土) ※AIDS 文化フォーラム in 横浜参加のため

夏季休館 : 2015 年 8 月 13 日 (木) ~17 日 (月)

◆横浜 AIDS 市民活動センターでは、HIV・エイズ啓発活動に関する相談を受け付けています。お気軽にご相談ください!

【過去の相談事例】

- ・文化祭やイベント計画のアイデアがほしい。
- ・学校の授業や職場研修で役に立つ資料やワークショップ手法を知りたい。
- ・HIV・エイズに関連する講座やイベント、ボランティア活動の情報がほしい。



おーぷん

URL <http://www.yaic.gr.jp/>



発行:横浜 AIDS 市民活動センター
公益財団法人横浜YMCAが横浜市から事業を受託しています。

〒231-0015 横浜市中区尾上町 3 丁目 39 番
地尾上町ビル 9F /TEL:045-650-5421
FAX:045-650-5422/E-mail: info@yaic.gr.jp
平日:13:00~20:00/土・祝:10:00~17:00
休館:日/火
監修:横浜市健康福祉局健康安全課

特集 性感染症、ココが気になる! Q&A

感染経路のこと、予防のこと...、気になる疑問にお答えします!

★夏のイベント情報★ 第 22 回 AIDS 文化フォーラム in 横浜

◆開催概要◆

~今こそ、ともに生きる~

日程:2015 年 8 月 7 日 (金) ~9 日 (日)
10 時~17 時 30 分 (最終日は 16 時)

会場:かながわ県民センター (横浜駅西口)

主催:AIDS 文化フォーラム in 横浜組織委員会

共催:神奈川県

問い合わせ:横浜 YMCA 国際・地域事業 高村・大塚

TEL:045-662-3721(代) FAX:045-651-0169

E-mail: abf@yokohamaymca.org



入場自由・
無料♪

♥ イベントボランティア募集中 ♥

当日の会場づくりに参加しませんか?10 代を含む幅広い年代の方が参加しています♥

<参加にあたって>

- 🌈 1 日から参加 OK!
- 🌈 中学生は保護者の了解が必要です。
- 🌈 小学生は保護者と一緒の参加となります。
- 🌈 ボランティア証明書発行可能。
- 🌈 オリエンテーション (7/31 または 8/1) 参加必須



◆ 講座「アフリカのエイズ

~青年海外協力隊員のチャレンジ!」◆

HIV・エイズは世界共通の問題。アフリカでの様子をボランティア経験者が話します! 中高生の皆さんの参加大歓迎!

日時:8 月 9 日 (日) 13:00~14:00

会場:かながわ県民センター 306 会議室

問い合わせ:横浜 AIDS 市民活動センター

TEL:045-650-5421



性感染症の基礎知識

性感染症、ココが気になる！ Q&A

感染経路のこと、予防のこと…、気になる疑問にお答えします！

性感染症、ココが気になる！ Q&A

性感染症予防にはお互いの理解・協力・思いやりが欠かせません。

1. 性感染症とは…性的接触によって感染する病気

性感染症を引き起こす病原体（ウイルス、細菌、原虫など）は、感染者の精液・膣分泌液・血液などの体液や、性器・口などの粘膜とその周辺の皮膚にいます。性的接触の際に、感染している粘膜や皮膚が相手の粘膜や皮膚に接触することで感染します。

たった一度でも性的接触の経験があれば、他人事ではありません。

Point① 予防方法

性的接触をしないこと

または

コンドームの正しい使用が有効

※コンドームでの予防は 100%ではありません。おおえない部分の皮膚の接触で感染する性感染症もあるからです。

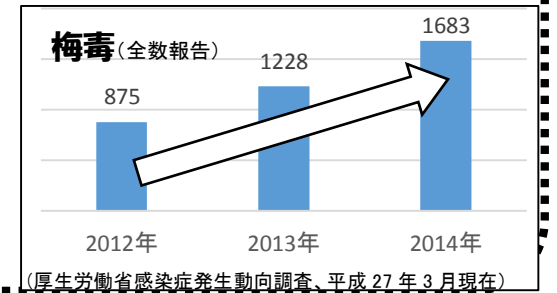
2. 主な性感染症と代表的な症状

病名(病原体)	潜伏期間	症状・特徴	治療
性器クラミジア感染症 (クラミジア・トラコマチス)	1~3週	男性 ・尿道からのうみ、排尿痛など 女性 ・自覚症状がほとんど出ない。 ・腹膜炎・子宮内膜炎(腹痛)を起こし、不妊症の原因になることがある。	抗生物質内服
りん菌感染症 (りん菌)	2~9日	男性 尿道からのうみ、排尿時に強い痛みなど 女性 ・うみのようなおりもの。症状が軽いことも多い。 ・腹膜炎・卵管炎(腹痛)を起こし、不妊症の原因になることがある。	抗生物質内服
性器ヘルペスウイルス感染症 (単純ヘルペスウイルス)	2~10日	・性器やその周辺の痛み、水ぶくれ。 ・症状が出ないことが多い。 ・再発しやすい。	抗ウイルス剤の内服など
尖圭コンジローマ (ヒトパピローマウイルス)	3週~8か月	・性器やその周辺に先のとがったいぼ(痛みがないのが特徴)	外科的な切除など
梅毒 (梅毒トレポネーマ)	感染後、主に3期に分かれて進行。 第1期:3~6週頃、性器や足のつけ根に痛みのないしこり(自然に消える) 第2期:約3か月頃、全身にかゆみのない赤い斑点や発熱・頭痛など(自然に消えるが、再発することもある)。 第3期:3年経過頃、心臓や脳などに症状が出てきて放置すれば命に関わる。	抗生物質の内服・注射など	

Point② 似たような症状、または、他の異変や違和感がある場合、すぐに医療機関へ！
 性感染症かどうかは医師の診察・検査を受けなければわかりません。この他にも HIV 感染症や腫トリコモナス症など色々な性感染症があり、症状も様々です。自己判断は危険！
 女性は婦人科や産婦人科、男性は泌尿器科へ。皮膚に症状があれば皮膚科でも大丈夫です。日ごろから自分自身の健康状態をチェックしておくことも大切です!!!

3. 感染を繰り返さないために、治療は相手と一緒に！

あなたが感染していたら、相手も感染している可能性があります。再感染を防ぐためにも、必ず相手にも検査を受けてもらい、必要に応じて一緒に治療を受けましょう。医師から「完治した」と言われるまで治療を続けましょう！



Q: 日本国内で感染報告が多い性感染症はなに？

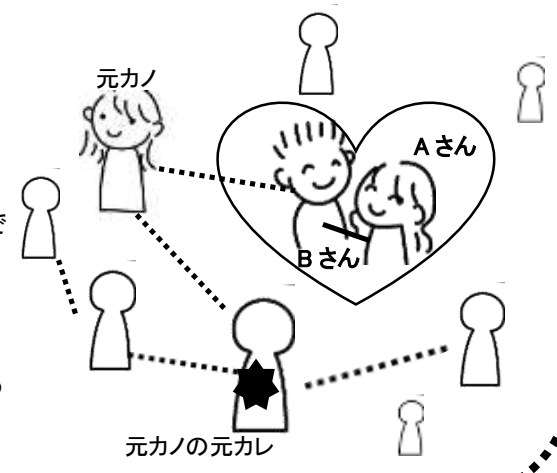
A: 感染報告が圧倒的に多いのは性器クラミジア感染症、次いで、りん菌感染症です。それぞれ若い世代に感染が多いのが特徴です。

また、梅毒の感染報告が右肩上がりで急増しています！
早期発見・早期治療が大切！

Q: 彼(彼女)一筋です。お互いに信頼しあっているから大丈夫ですよ！

A: お互いが唯一の存在で信頼しあっているから大丈夫ですよ！
 過去のことは分かりません。また、自覚症状がなかったり、気づきにくかったりする性感染症の場合、知らないうちに相手に感染させてしまうこともあります。

【Aさんの例】
 AさんにとってBさんは初めてのカレ。2人はいま、お互いが大好き。
 しかし、もしもBさんに元カノがいて、元カノには元カレがいて、その人が性感染症に感染していたら…。Aさんにとっても、性感染症は他人事ではありません。



Point③ 感染しない、感染させない

- ✓ 性感染症の正しい知識・情報を得る
- ✓ 予防について、ちゃんと話し合える関係になる
- ✓ 必要に応じて、検査・治療を受ける
- ✓ 正しく予防する

Q: 相手が予防に協力してくれません。「疑っているの？」と不機嫌になることもあって、嫌われてしまうのではないかと心配です。どうすればよいでしょうか？

A: 性的接触の際に予防をしなければ、感染する・感染させる可能性があります。お互いに正しい知識を学び、話し合い、予防を続けてください。

もしも、あなたの気持ちや話し合いに反して“性感染症予防や避妊に協力しない”、“不機嫌になったり怒ったりして、相手の思い通りにしようとする”場合、それはデートDV(恋人間で起こる暴力)です。こうした状況の場合は、一人で抱え込まずに周囲の信頼できる人(保健室の先生や相談機関など)に相談しましょう。

参照:学研「中学保健体育」、エイズ予防財団監修「これだけは知っておきたい 性感染症」
 横浜市衛生研究所「疾患別情報」 <http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/idsc/disease/>
 厚生労働省「性感染症」 http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/